



共育に関する情報をお届けします。

## 「UNI-ONE × 妙香園 親子PBL授業、第3回を開催。」

The third  
lesson

## 第1回子ども会議

最終回の授業(プレゼンテーション)に向けて、

『妙香園をもっと子どもたち(小学生)に知ってもらう』というテーマで準備を進めていきます。

会議は子どもたち主導で進めていきます。4人の妙香園こども社長が誕生した、今回の会議の様子をお届けします。あっという間の2時間。子どもたちからは時間が足りないという声も。

## 共通点探し

今回は4名の子どもたちが参加、初めて参加するメンバーもいたこともあり、4人に共通することを探すことからスタート!

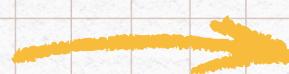
4人の共通点は…

『いやがりこのサラダ味が好きでした(^^)



何やら作戦会議中の様子

なぜ、好きなのか?  
をみんなで話し合い  
発表してくれました。



## 前回の復習

前回欠席したメンバーのために、  
前回参加した子どもたちから情報  
共有をしました。



前回抹茶を試飲した  
際に、使用した口元  
が金属の茶器も見せて  
いただきました。

社長って  
どんな人?

## 方針決定

どうやって進めていくか、方針を決定。

「意見を聞かない社長は嫌だ、だからといって意見を言わずに人に任せきりになるのもおかしい。」  
とそんな意見が出る中…

4名の子ども社長は全員一致で  
『みんなで協力しながら進めていく』  
ことになりました。

みんなが思う社長のイメージをきいてみました。

- ・会社をまとめる人、リーダー
- ・努力家、
- ・えらい人
- ・起業した人
- ・お金を持ってる

椅子でくろくろ  
しているイメージ  
との意見に  
賛同の声が



妙香園の社員さんからは  
『会社の顔』  
人となりも含めて、  
会社を表す存在との意見が。

↑社長のイメージ図!?

## 次回は

沢山出たアイディアから、  
子どもたちで話し合い、意見をまとめました。



次回はこの意見を深掘りしていきます。街の中にヒントがないか見てみてね!  
というお題が出ていました。



全体のアイディア  
の1/4がこの量  
スゴイ!



『妙香園をもっと子どもたちに

知ってもらうために』

どうしたらいいか?

色々なアイディアが出て  
きました。事前に資料を用意し  
てきてくれているメンバーもいて、  
とにかく発想が  
素晴らしい!?

## アイディア出し



せっかく会議をしたのに、意見が出てこない、会議の決定に納得感がもてない、意見を出すメンバーはいつも同じになっている・・・そんな経験ありませんか？それにはいくつかの原因があります。

上司による発言の独占、会議の目的・方向性の不明瞭さ、発言しにくい会議の雰囲気、等々。

『会議』とは特定の議題について関係者が集まり、情報共有や意見交換を行い、合意形成や意思決定を行うための「公式な場」とされています。

まさに今回の子ども会議では全員が発言し、活発に意見がでました。また、みんなで方針を決定し、その日のゴールまで進行することができました。それはなぜでしょうか？

### ファシリテーターの存在

ファシリテーターとは、会議などの場で中立的な立場から議論を促進し、参加者の合意形成や問題解決を支援する役割を担う人のことです。今回、子ども会議ではこの存在が重要になります。

一切決定はせず、単なる「進行役」以上に、参加者の力を最大限に引き出し、場をゴールへ導きます。進行のサポート、意見の引き出しと活性化、合意形成の支援、心理的安全性のある場作り等、多岐にわたります。

### 会議は『成長と信頼を育む場』

子どもたちの会議で見られたように、全員が安心して意見を出し合い、自ら方針を決めて進む姿は、大人の会議にも通じます。会議は単なる意思決定の場ではなく、チームを育て、信頼を深める貴重な機会です。この「会議の質」がチーム力や組織成果を大きく左右します。その意味で、ファシリテーションは会議をチームビルディングの場へと変える重要な仕組みであり、今、多くの企業が注目して外部ファシリテーターを活用し始めています。

会議は“単なる報告や決定の場”から“成長と信頼を育む場”へと進化しています。



### Staff's voices

### 関係者の想い Vol.02

#### 共育のプロフェッショナル



妙香園  
寺田 様

子どもたちのアイディアに『なるほど』と感心しています。私たちの参加する会議ではこんなに活発な意見は出ていなかったので、驚きました。とても楽しそうで、理想の会議の姿だと思いました。

”ひとみちゃん”の愛称で  
子どもたちからも大人気♥



Dr. Hayakawa

『こんなの子どもの頃にやってみたかった！』

そんな思いがつまつた体験プロジェクトです。子どもたちが本気で学び、考える姿に、大人もハッとさせられる。子ども向けと思いきや、大人も一緒に育つ。まさに、学び合いの時間です。

言語聴覚士、公認心理師  
大学教授  
担当科目  
発声発語障害学  
(機能性構音障害・器質性構音障害)

### Next

### 第4回は『たくさん考える』です

今回の妙香園様との共創PBL(問題解決型・主体的)授業は全6回を予定しています。

第4回では、アイディアをカタチにしていきます。

「なぜ必要?」「誰に?」「どうする?」「どう変わる?」「お金は?」という流れを通じて、ただの思いつきではなく“相手を納得させる企画の組み立て方”を自然に体験していきます。

子どもたちは“社会の見方・企画の型・伝える力”をワークを通して楽しみながら学んでいきます。

また、大人もその姿から多くの学びが獲られるでしょう。

### 合同会社 Uni-One

所在地：愛知県名古屋市千種区桜が丘119-110

代表：室園 幸志 (CEO)

事業内容：共育事業・企業支援事業・美容と癒し事業

● <https://uni-one.co.jp>

✉ company@uni-one.co.jp ☎ 052-990-0152

-思考ヒューリスティクス-



お友達登録もお願いします(^^)

